

社会福祉法人すずらの会

視覚支援好事例集

サービス向上委員会【平成 26 年度版】



事業所名（ワークショップ・フレンド）

改善前

きっかけ

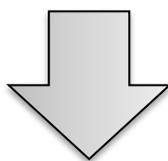
1Fの男性トイレは、小便器と大便器が一つずつあり、2人定員だが、入り口の扉は内側から鍵を閉めることが出来る。

行動

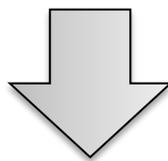
新しく利用開始した人などは、家のトイレと同じ感覚で、入り口の扉の鍵を閉めてしまい、2人目の人が入れなくなってしまうことがあった。

結果

朝礼など全員が集まる場で、周知をしたが、口頭指示では伝わらず、鍵を閉めてしまう人は後を絶たなかった。



作り方・工夫した点など
外側の入口だけではなく、内側の鍵の部分にも印を付けた。



改善後

外側と内側の扉に注意書きの表示をした。

内側にも表示をしたことで、入出後、再度注意を払うことが出来た。

内側から鍵を閉める人は居なくなった。

事業所名 (ワークショップ・フレンド)

改善前

きっかけ

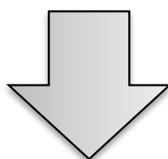
作業手順を覚えておくことが難しい

行動

その都度、職員が説明をする

結果

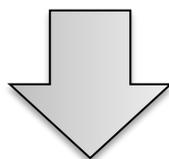
利用者への指摘が増える
職員の作業が滞る



視覚支援



作り方・工夫した点など
写真付きの手順書を作成し、ラミネート。作業場所から確認できる位置に貼り出した。



改善後

手順書を貼り出す。

利用者が自分で確認する

利用者自身が作業を進める事ができるようになる。
できるようになった事を誉める機会ができる。

事業所名（ワークショップ・フレンド）

改善前

きっかけ

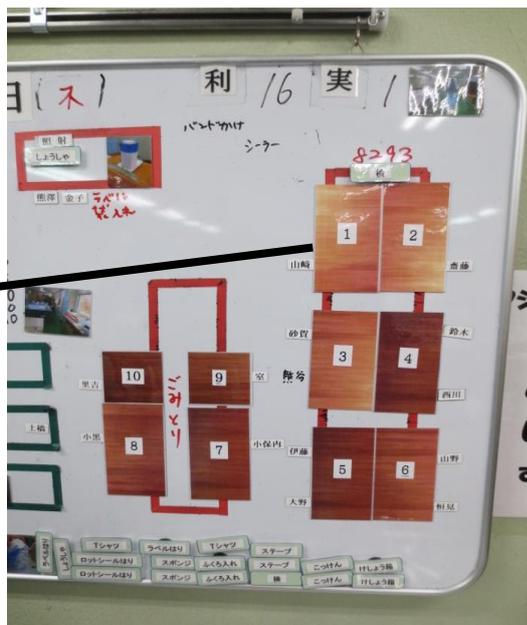
利用者が各作業機の配置につく際に、事前にホワイトボードに手書きで書かれた配置図を確認して、位置についていた。

行動

利用者は机の形と自分の名前のみで、配置を確認していた為、長くフレンドを利用していた慣れた利用者は支障無く、正しい位置につくことが出来ていた。

結果

フレンドは、利用者の入れ替わりが多いことと、常時、実習生を受け入れている為、新しい利用者や実習生は、ホワイトボードに記された作業機の形と自分の名前のみで、位置を確認することがスムーズに行えなかった。



作り方・工夫した点など

- ① 実際の作業機は木製なので、ホワイトボード作業機（マグネット式）も木目調にし、縦横の長さの比率を実際の作業機に近づけ、視覚的に空間認知を行いやすくした。
- ② 実際の作業機に番号のプレートを貼り、ホワイトボードの作業機にも番号表示をしたことで、職員からの口頭指示も行いやすくした。「～番の机に移動して下さい」など

改善後

・実際の作業機と見た目を近づけ、机自体の移動が生じた時に対応出来る様、マグネット式にした。
・実際の作業機とホワイトボードの作業機の両方にナンバーリングをし、番号での照らし合わせを可能にした。

以前から居た利用者からの「自分の位置が分かりやすくなった」という声と、新しい利用者や実習生の配置確認がスムーズに行える様になった。

利用者のスムーズな配置確認と、職員から声掛けが視覚的に行いやすくなった。

事業所名 (ワークショップ・SUN)

改善前

きっかけ

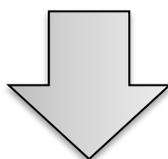
施設外 (3M) 班の工場内では、工場のルールで行動しなくてはならない。
一般的な歩行者優先ではなく、フォークリフト優先ルール

行動

一般的な交通ルールで工場内を歩くため、安全確認の意識が少ない。

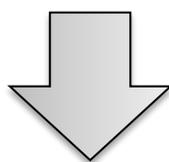
結果

ケガや事故の危険が危惧された。
本来はフォーク優先のところ、歩行者優先でフォークリフトを止めてしまうことがあった。



視覚支援

作り方・工夫した点など
工場内と同じような環境を作業室内に作った。



改善後

・横断歩道を作った。
・フォークリフトの通路 (危険ゾーン) をテープで示した。
・ストップの文字と足型で一時停止位置を示した。

・ストップ&足型の位置で一時停止する。
・左右とフォークリフトの安全確認をする。

・横断歩道での一時停止と安全確認が習慣化した。
・フォークリフトが動いていないか確認するようになった。
・安全意識の向上

事業所名 (グリーンハウス)

改善前

きっかけ

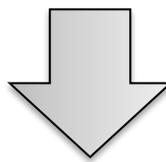
周りの人たちがびっくりするくらい大きな声で話をしたり、返事をする人がいた。

行動

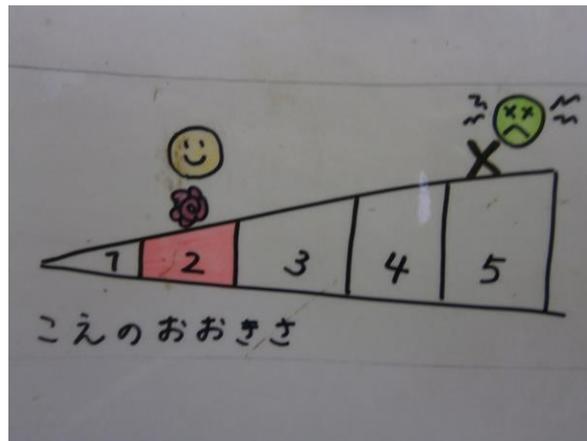
小さい声で話すように伝えた。

結果

小さい声がどのくらいの音量であるのか理解してもらえなかった。

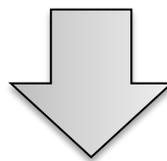


視覚支援



作り方・工夫した点など

・色使いなど、見た目でもわかりやすいように工夫した。



改善後

周りの人たちがびっくりするくらい大きな声で話をしたり、返事をする人がいた。

職員が本人へ声の大きさを抑えるように伝える際、今出ているボリュームの数字を示しながら声を出し、その後出して欲しい声のボリュームの数字を示しながら声を出すことで伝える事とした。

職員の出した大きさの声を出す事ができた。その後も大きな声は出る事もあるが、「2番の声をお願いします。」と声をかければ、静かな声で話す事ができるようになった。

事業所名（グリーンハウス）

改善前

きっかけ

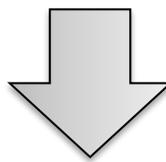
利用者にもトイレ掃除を行なってもらうことになった。

行動

口頭で掃除の方法を伝えた。

結果

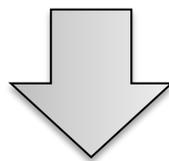
掃除の方法を覚えられなかった。



視覚支援



作り方・工夫した点など
・ご本人の目線を想定して写真をとることとした。



改善後

利用者にもトイレ掃除を行なってもらうことになった。

写真を使用し、掃除の方法を1～順に写真と文字で示し伝えた。

写真を見ながら、掃除を行えた。常に写真があるので、その都度、職員が付きっきりで対応しなくても掃除ができるようになった。

事業所名（すずらの家・生活介護）

改善前

きっかけ

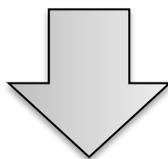
ドアを強く閉めるため、「静かに閉めてください」と声をかけたり、「しずかにしめる」とドアに文字掲示をしたりする

行動

ドアを強く閉める

結果

閉める際に、大きな音が出て他利用者が不安定になる
ドアが故障する

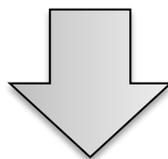


視覚支援



作り方・工夫した点など

利用者が好きな幼児の絵を記載した



改善後

幼児が泣いている絵と共に「しずかにしめて」と記載した紙を掲示する
「大きな音が出ると、赤ちゃんが泣いてしまいますね。かわいそうですね」と声をかける

「赤ちゃん、かわいそう」と言って静かに閉める

他利用者の安定
ドアの負担軽減

事業所名 (ぱれっと生活介護)

改善前

きっかけ

行動

結果

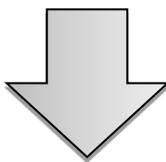
5 個ずつ数えるよう指示する。



それぞれの利用者が 5 個数える。



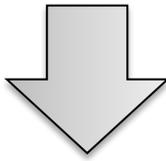
数の間違いがたびたびある。



視覚支援



材料費を掛けずに制作できた。



改善後

耳栓の袋と同じ大きさの数字のマスを作業台に貼る。



マスに置いていく。



確実に 5 個数えられ、間違いがなくなった。

事業所名 (ぱれっと生活介護)

改善前

きっかけ

行動

結果

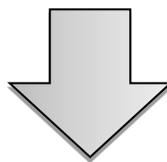
昼食後に目薬をさすことを利用者の自己管理としていた。



読書やおしゃべりに夢中になる。



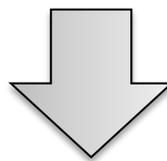
目薬を忘れる。



視覚支援



安価で制作する事が出来た。



改善後

昼休みの過ごし方のスケジュール表を作成。



一つの行動が終わるたびにマグネットを貼る。



スケジュールを忘れる事が少なくなった。
忘れていた項目について、職員と一緒に確認することができる。

事業所名 (ぱれっと生活介護)

改善前

きっかけ

行動

結果

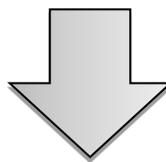
25 個数えるよう指示した。



それぞれの利用者が 25 個数えた。



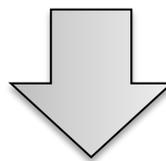
数え間違いがたびたびおこった。



視覚支援



安価で制作する事が出来た。



改善後

5×5 の枠を用意した。



一つずつ袋を並べる。



数え間違いがなくなった。

事業所名（大和市障害者自立支援センター）

改善前

きっかけ

行動

結果

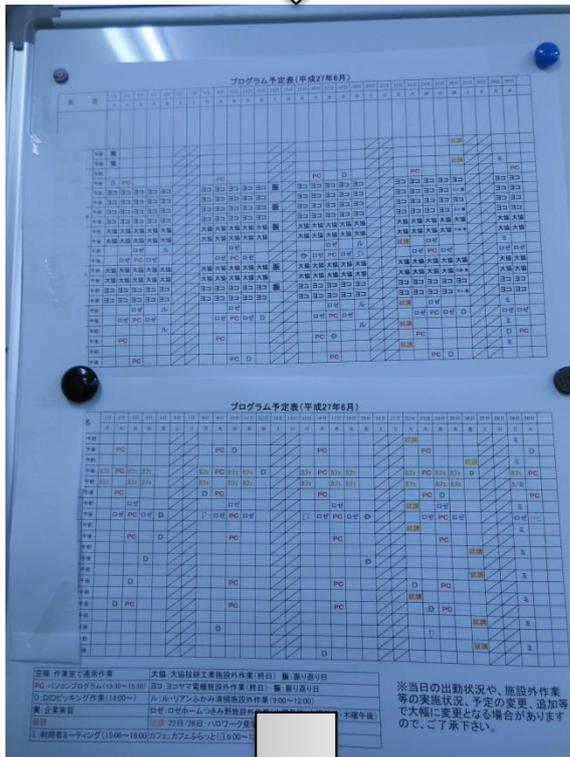
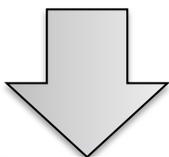
以前は、日々のピッキング作業の担当割を掲示していた。



パソコンプログラムや、施設外作業等、活動内容が増えてきた。



日々の予定や、活動内容が分かりにくくなってきた。



視覚支援

作り方・工夫した点など
「プログラム予定表」として、1枚にまとめた。

改善後

1か月分の作業等の予定を、掲示した。



日々の予定が分かりやすくなった。



自分の予定を確認する利用者が多く見られている。事前に予定が分かることで、作業に臨む上での気持ちの切り替えや、安心感に繋がっている利用者もいる。

事業所名（大和市障害者自立支援センター）

改善前

きっかけ

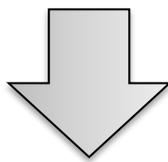
一般ごみ（燃えるごみ）とビニールごみのゴミ箱が、並んで置いてある。

行動

ビニールごみへ、一般ごみを入れてしまう。

結果

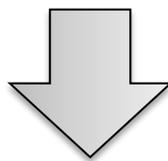
ごみの分別が出来ない。



視覚支援



作り方・工夫した点など
ビニールごみのゴミ箱にフタを付けた。



改善後

ビニール以外のごみが入っていると、回収してもらえない為、ビニールごみのゴミ箱の方に、フタを付けた。フタには、間違えてゴミを捨てない様、大きく「ビニールゴミ」と記載し、フタを開けやすいよう、取っ手をつけた。

フタを開けるひと手間が加わったことで、ビニールごみのゴミ箱には、ビニール以外のごみを入れないようになった。

ごみの分別ができるようになった。判断に迷う際に、職員へ確認してから、ごみを捨てる利用者も見られるようになった。

事業所名（発達支援部門）

改善前

きっかけ

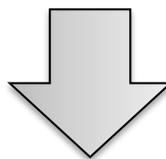
お菓子があった。

行動

お菓子を食べた。

結果

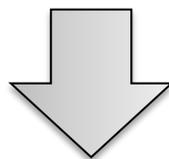
職員に注意された。



視覚支援



作り方・工夫した点など
してよいことに○印、し
てはいけないことに×
印をつけました。



改善後

お菓子を食べてはいけない
絵の掲示を見た。

お菓子を持っていても食べ
ない。

気付いた職員に褒められる。

事業所名（発達支援部門）

改善前

きっかけ

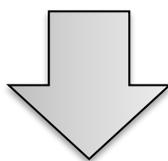
「並んで」と口頭だけで言われる。見本になる仲間がいない。

行動

言われていることが理解できない。分かっていても、どこに、どの向きに並べば良いのかわからない。指示に従えず、その場にボーッと立っている。

結果

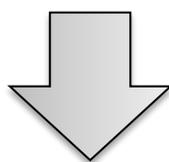
指導員に身体介助を受ける。自分から動けず、毎回並ばされて、不安。



視覚支援



作り方・工夫した点など
カラーのファイルケースを足型に切り、透明テープでマットに貼る。



改善後

並んで欲しい先頭の場所に足型付き小マットを置く

口頭指示の分かりづらい人も列の先頭がどこで、どの方向に並べば良いかわかり、列に並ぶことができる。

指導員からほめられる。列に並ぶ行動が身に付く。順番も身に付く。

事業所名（発達支援部門）

改善前

きっかけ

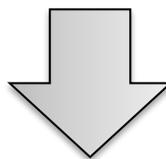
帰ろうとドアの前に立つ。

行動

ドアを開けようとするが開かない。

結果

更にとっ手を激しく動かし、職員に怒られる。

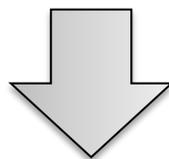


視覚支援



作り方・工夫した点など

ドアを開ける画像をインターネットで探し、ドアの所に厚紙を貼り、マジックテープでくっつけました。ことばで伝えられない場合はカードを手渡せるようになっています。また、自分から伝えられるように文字も書きました。



改善後

ドアの前に行くと絵カードが貼ってある。

カードを近くにいる職員に手渡す。

ドアが開く。
伝えられたことで職員にほめられる。

事業所名（発達支援部門）

改善前

きっかけ

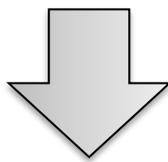
事務室（教材室）にはおもちゃがたくさんある！

行動

入ってしまう

結果

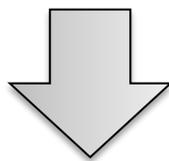
職員にむりやり連れ出される



視覚支援



作り方・工夫した点など
シンボルをインターネットからダウンロード
ただけです。



改善後

ドアの前に行くとシンボル
がはってある。

理解できたので入らない。

気付いた職員にほめられる。

事業所名（発達支援部門）

改善前

きっかけ

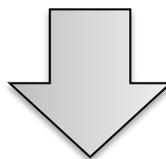
じゃんけんをする。

行動

じゃんけんの結果がわからず、混乱する。

結果

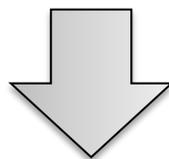
大人や友達に教えてもらってゲームに参加する。



視覚支援



作り方・工夫した点など
じゃんけんのイラストを貼りつけ、勝ちの方に○を付けました。



改善後

じゃんけんカードを見ながらじゃんけんをする。

勝ち負けが自分で判断できる。

自信を持ってゲームに参加できる。

事業所名（発達支援部門）

改善前

きっかけ

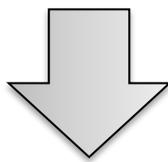
ホワイトボードに写真が貼ってあり、スケジュールがしめされている。

行動

写真の意味がよくわからない

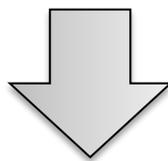
結果

見通しが持てなくて不安、集中も続かない。



視覚支援

作り方・工夫した点など
IKEA で棚と引き出しを購入、100円ショップのカード入れを貼りつけた。



改善後

引き出しが外せる棚に教材を用意。

終わった課題の引き出しは外してしまうと、次がわかる

見通しをもち、集中して取り組める。